

平面図  
縮尺: 1/50

■雨水利用の仕組み

■水不足と雨水利用の現状

- ・地球上で私たちが利用できる水は、全体の0.01%未満。
- ・現在、世界の約7億人が水不足の中で生活している。
- ・不衛生な水のために、年間約180万人がなくなっている。
- ・雨水再生水利用量は全国の水使用量の約0.3%しかない。
- ⇒雨水を楽しむことで、水の大切さを伝える場所をつくる。

■デザインの目的

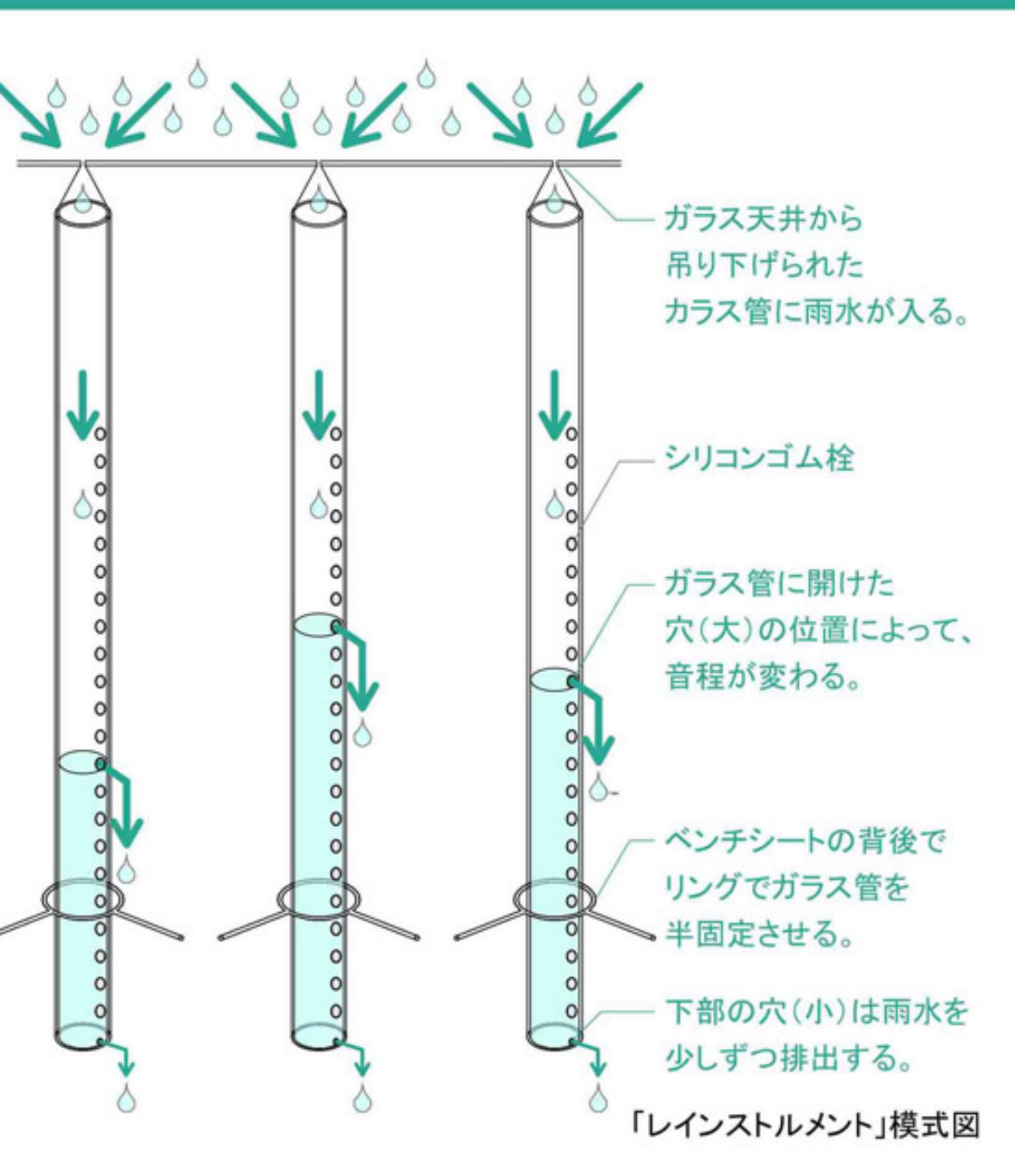
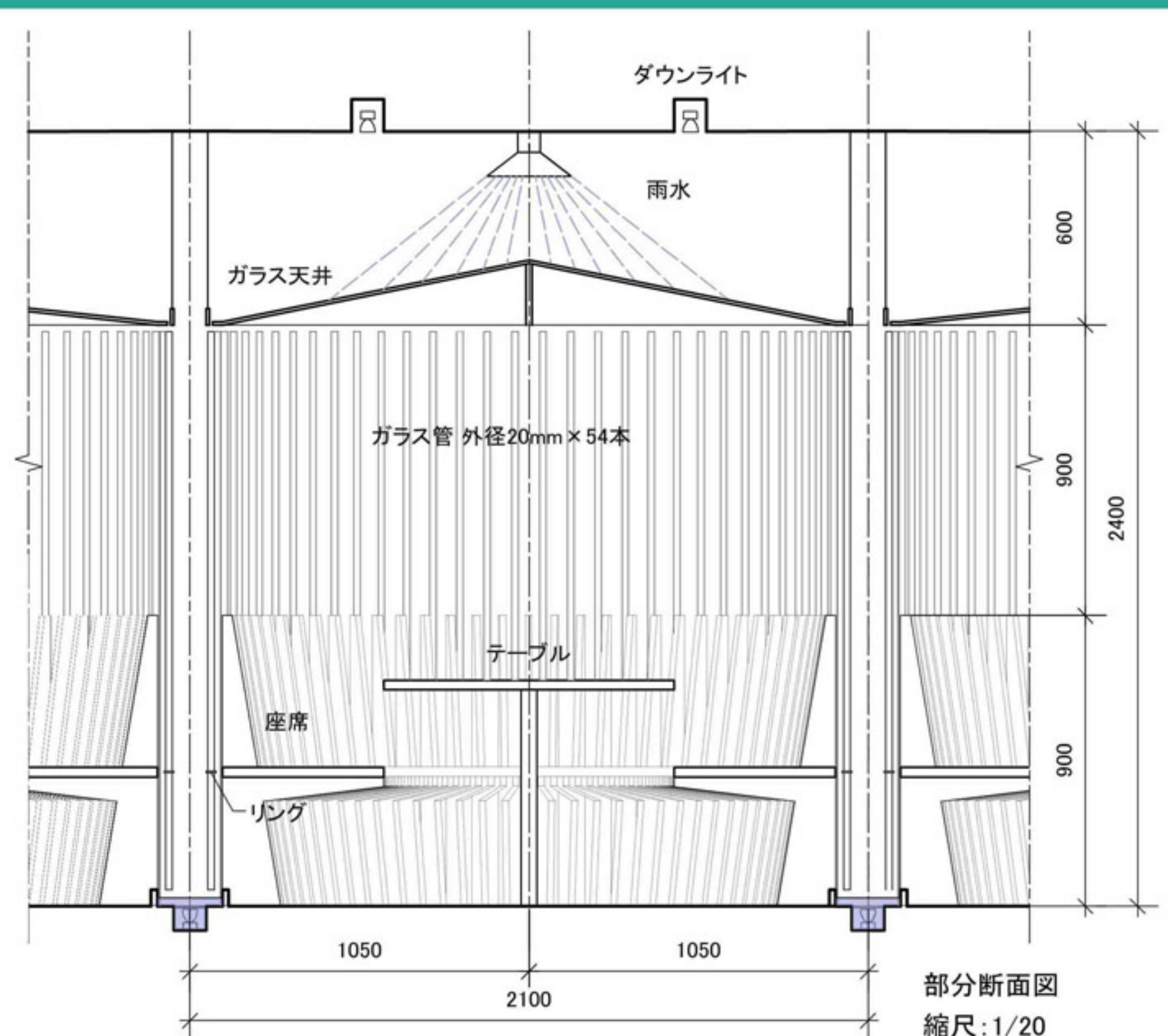
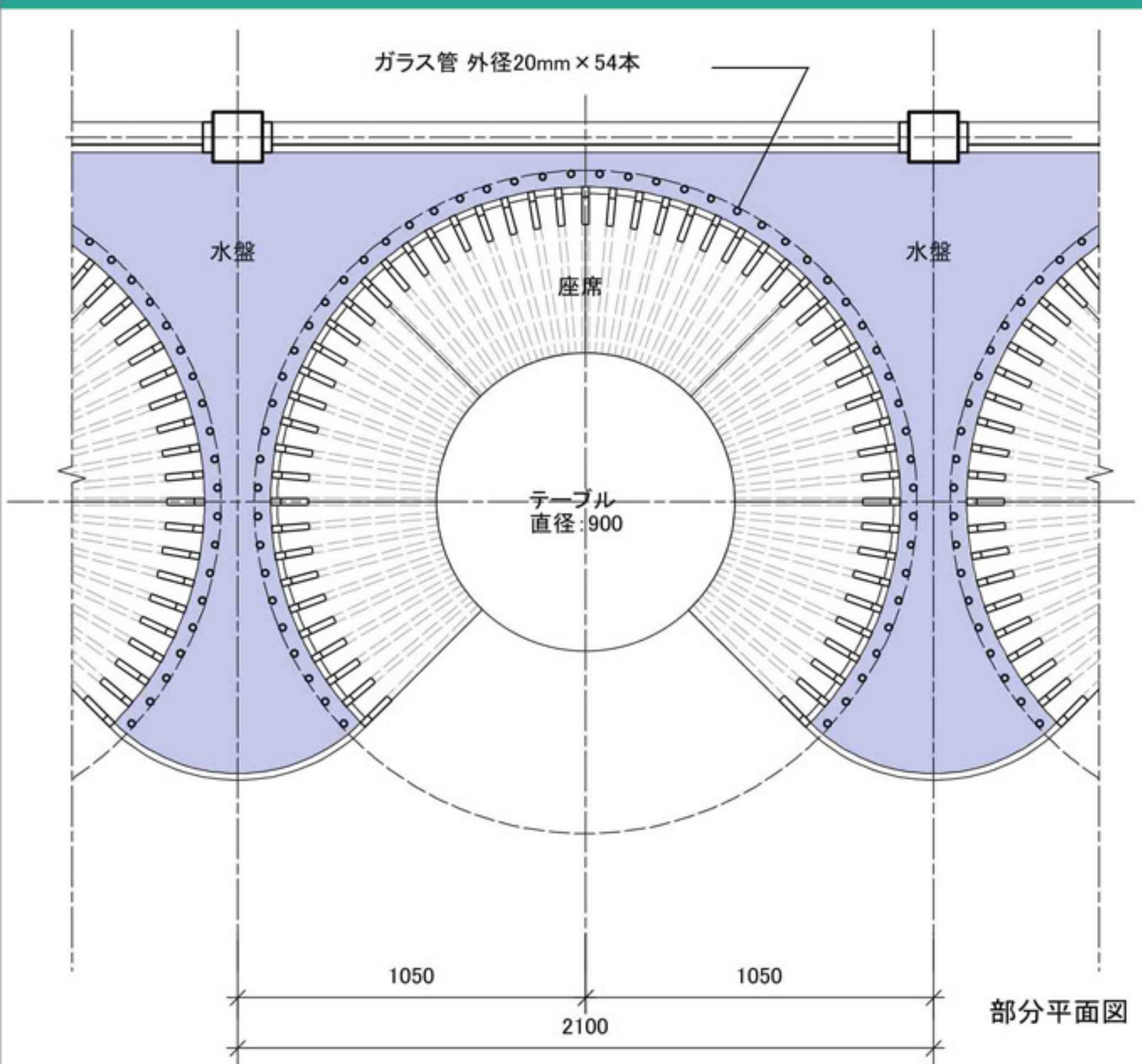
客席上部のガラス天井に雨水を降らせることで、雨を身近に感じる。触れたり手にとったりして雨水を楽しめる。また水の音を楽しみながら周りの音が消され、マスキング効果を得る。夏は雨水により吸熱され、室温が下がる。乾燥する冬は、加温の効果を得る。

■「レインストルメント」

雨水の量によって音程が変わる、54本のガラス管による楽器が客席を囲む。ガラス管の並びでメロディを奏できるように、それぞれのガラス管の音程を決める。客は店内で渡されるマレットで自由に演奏できる。雨を楽しみながら、落ち着く雰囲気の中でゆったりと時間を過ごす。

# RAINTERIOR

レインテリア



外部から客席をみる